

安芸市立書道美術館は、全国初の公立書道美術館として昭和57年、安芸城跡に開館しました。

安芸城は戦国の武将安芸国虎の居城でしたが、江戸時代には土佐藩家老五藤氏がここに居を構え、五藤家のご厚志により、この歴史ある地に書道美術館が建設されました。

また、安芸市出身の書家・南不乗先生のご尽力により、全国の書家の方々から多種多様な作品を寄贈いただき、近・現代書道を代表する書家の作品を数多く収蔵しています。



書道美術館建設由来碑
「望雲」は南不乗書
碑文 山崎大抱書

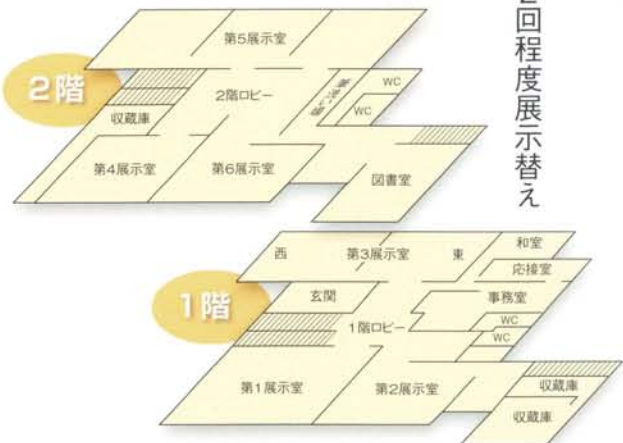
展示案内

収蔵作品数：現在約六〇〇点
常設展示：一〇〇点程度展示／年間約2回程度展示替え
企画展：年間1〜2回程度開催

書展案内

- 安芸全国書展
- ▼毎年6月初旬から8月初旬開催
- 安芸全国書展高校生大会
- ▼毎年8月初旬から9月初旬開催
- 高知連合選抜書展
- ▼隔年11月開催

※書展開催中は常設展示は展示していないか又は一部のみとなっておりますのでご了承ください。



安芸市立書道美術館

〒784-0042 高知県安芸市土居953番地イ
TEL・FAX 0887(34)1613

施設利用案内

- 開館時間／午前9時～午後5時
- 休館日／毎週月曜日(祝日と重なる日は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
臨時休館：展示替え、特別展準備等で臨時休館する場合があります。

●入場料

| | 大人 | 中高生 | 小学生 |
|-------|------|------|-----|
| 個人 | 300円 | 100円 | 50円 |
| 団体 | 200円 | 70円 | 30円 |
| 共通券 | 510円 | 150円 | 80円 |
| 共通・団体 | 400円 | 100円 | 50円 |

※団体割引は20名以上
※隣接の歴史民俗資料館との割引共通券があります。
※土曜日は、小中高生 無料

- 交通機関
高知龍馬空港から……車で約40分
南国ICから……車で約1時間
ごめんなはり線安芸駅から無料レンタサイクルを利用し、約15分



安芸市立書道美術館
Aki Calligraphy Art Museum



書道の里 安芸

江戸時代、土佐藩家老五藤氏が置かれた安芸は、学問が盛んで、優れた書家を数多く輩出しています。

明治以降、川北村（安芸市）出身の

川谷横雲は、高知師範学校教員などを勤め、高知県



内の書道普及に尽くしました。

また、弟の尚亭は、大阪で甲子書道会



をおこし、「書之研究」を発行して書学の体系化をはかり、日本の近代書道史に大きな功績を残しました。

同じ頃、安芸町（安芸市）を中心に多くの書家が活躍し、その中から、現代書道に大きな影響を及ぼした手島右卿が生まれます。右卿は、昭和33年ブリュッセル万国博に「抱牛」を出品し、書道芸術の国際評価を高めました。また、弟の高松慕眞、南不乗も書家として、活躍しました。

川谷横雲・尚亭兄弟

「貫穿透徹極其意」川谷横雲書

貫穿透徹極其意

辛巳之夏 横雲書

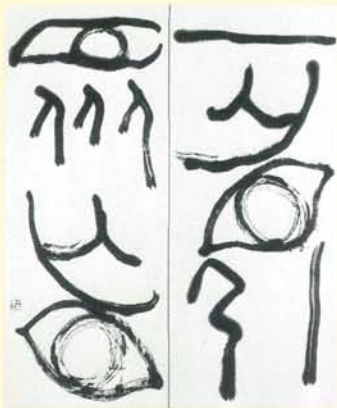
「秋色自随黄葉老」川谷尚亭書

秋色自随黄葉老
常共白雲舒

尚亭書

手島三兄弟

「二首引衆首」手島右卿書



「看華出洞」高松慕眞書



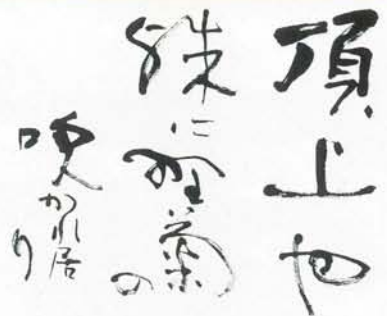
「雲」南不乗書

全国の書家

「七言二句」比田井天来書



「万葉歌」日比野五鳳書



「石鼎句 野菊」金子鷗亭書

